

取引所株価指数証拠金取引「くりっく株365」入門ガイドブック改訂表

取引所株価指数証拠金取引（以下、「くりっく株365」）のうち、NY ダウ証拠金取引を含む海外株価指数の金利相当額算出の適用金利を、平成29年12月18日より、円金利から、各々の対象指数の外貨金利に変更致します。

当変更に伴い、『入門ガイドブック』を以下のとおり改訂致しますのでご参照下さい。

■改訂表

ページ（タイトル）	改訂前	改訂後 （平成29年12月18日以降）
Page 3『おぼえておこう 「くりっく株365」の取引概要』 金利相当額／配当相当額 算出方法：	算出方法：清算価格×100×日銀政策金利（無担保コール翌日物誘導目標）×日数÷365	算出方法： <u>日経225証拠金取引の場合</u> 清算価格×100× <u>円金利</u> （日銀政策金利（無担保コール翌日物誘導目標））×日数÷365 <u>NYダウ証拠金取引、DAX®証拠金取引、FTSE100証拠金取引の場合</u> 清算価格×100× <u>外貨金利（各々の対象指数の先物市場価格から取引所が算出する金利）</u> ×日数÷365
Page 5『②配当あり（現物株と同じ）』 金利相当額ってこういうこと	金利相当額の算出方法 清算価格×100×日銀政策金利×日数÷365	金利相当額の算出方法 <u>日経225証拠金取引の場合</u> 清算価格×100× <u>円金利</u> （日銀政策金利）×日数÷365 <u>NYダウ証拠金取引、DAX®証拠金取引、FTSE100証拠金取引の場合</u> 清算価格×100× <u>外貨金利（各々の対象指数の先物市場価格から取引所が算出する金利）</u> ×日数÷365
Page 15(背表紙)『くりっく株365のリスク』 [金利変動リスク]	[金利変動リスク] 円の金利水準が変動すること等により、保有するポジションの金利相当額の受取額が減少、または支払額が増加する可能性があります。	[金利変動リスク] <u>金利相当額の計算には円や外貨の金利水準が変動すること等により、保有するポジションの金利相当額の受取額が減少、または支払額が増加する可能性があります。</u>

(2017/11/22)

くりっく株365のリスク

「くりっく株365」には、主に以下のリスクが存在します。投資を行う際にはこれらのリスク及び「くりっく株365」取扱会社より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分理解した上で、ご自身の判断でお取引を行うようにしてください。なお、以下に掲げるリスクは、「くりっく株365」での取引に生じる全てのリスクを示すものではありません。

価格変動リスク

取引対象である株価指数の価格の変動により損失が生じることがあります。また、「くりっく株365」の価格は現物の株価指数そのものではないため、需給関係、相場の状況等によっては乖離が拡大し、その結果、現物の株価指数から想定していた価格で取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金に比して大きい場合、相場の状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。

為替リスク

海外株価指数証拠金取引については、投資家は為替リスクを負担しませんが、マーケットメイカーが、自己の負担する為替リスクを勘案して買呼び値及び売呼び値を提示するため、為替相場の状況によってはスプレッドが拡大し、想定していた価格で取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

予想配当に関するリスク

配当相当額は、指数構成銘柄の権利付最終日における予想配当に基づき、その後の株価指数の値に与える理論上の影響値として、金融取が算出するものです。従って金融取の配当相当額は、実績配当に基づき算出される配当相当額や指数構成銘柄の現物株についての予想配当及び実績配当とは異なります。

金利変動リスク

円の金利水準が変動すること等により、保有するポジションの金利相当額の受取額が減少、または支払額が増加する可能性があります。

流動性リスク

「くりっく株365」では、マーケットメイカーが買呼び値及び売呼び値を提示し、それに対して投資家がヒットをして取引が成立する方式を取っています。その為、状況（天変地異、戦争、政変あるいは各国金融政策・規制の変更、株価指数の構成銘柄を上場する各取引所の制度変更、当該指数の情報配信の遅延・停止、相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼び値及び売呼び値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、投資家にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、平常時においても流動性の低い株価指数の取引を行う際には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

信用リスク

「くりっく株365」においては、投資家の取引を受託する「くりっく株365」取扱会社に対し金融取が取引の相手方となる「清算制度」を導入しており、投資家の証拠金は、全額金融取が分別管理しているため、原則として全て保全されます。しかし、「くりっく株365」取扱会社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、取扱会社が破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他の不測の損失を被る可能性があります。

システム障害等リスク

金融取及び「くりっく株365」取扱会社のシステム、または投資家、取扱会社、金融取の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等には、相場情報等の配信、注文発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失を被る可能性があります。

税制・法律等の変更リスク

税制・法律またはその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

入門ガイドブック

取引所株価指数取引 **くりっく株365**

日経225取引で**配当・レバレッジ**あり

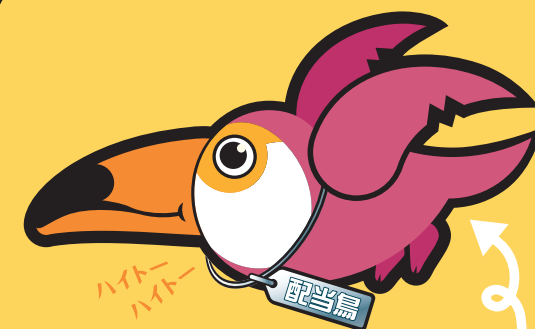
NYダウ
取引も



カブリエル

【日本名：株利得る】

鋭い株式嗅覚を持つ。
好物はもちろん株。
経済情勢を愛読し、
投資家としての実力は折り紙つき。
犬実（けんじつ）な投資がモットー。



ハイトードリ

【日本名：配当鳥】

カブリエルが発する
「配当の香り」に引き寄せられ、
常に配当を探して飛び回る。
カブリエルの良きパートナー。
鳴き声は「ハイトー、ハイトー」
と聞こえる。



株式会社 東京金融取引所

東京都千代田区丸の内1丁目8番2号 鉄鋼ビルディング8階

TEL 03-4578-2400 URL <http://www.click365.jp/cfd/>
FAX 03-3212-5780 E-mail info@tfx.co.jp



金融取

金融デリバティブの総合取引所

東京金融取引所

www.tfx.co.jp

1 ほぼ 24時間 祝日も

いつでも

日本市場だけでなく、海外市場の取引時間をカバー。深夜でも相場の連続性を保てる!

▶▶▶P4へ



メリットいっぱい、
魅力がいっぱい、

かつて
ない

5つのワンダフル。

くりっく株365

くりっく株365って、
カッコテキ〜。

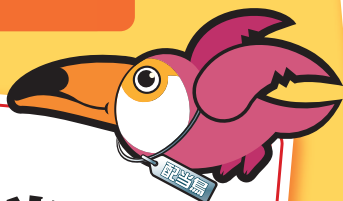


2 配当あり

現物株と同じ

買いポジションを保有することで、株価指数ベースでの配当相当額を受け取れる!(注)

▶▶▶P5へ



3 レバレッジ取引

少額で

証拠金取引、つまり少額の資金で取引できるから実に効率的!

▶▶▶P7へ



4 決済期限なし

長期保有も可能

取引に期限がなく、ポジションを毎日自動的に繰り越し。だから決済に追われない!

▶▶▶P8へ

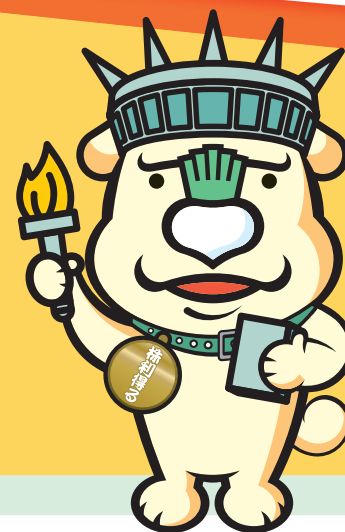


5 NYダウなど 海外株価指数も

為替リスクなし

為替レートを気にすることなく、海外株価指数の価格をそのまま円で取引が可能!

▶▶▶P9へ



くりっく株365のおおよそのイメージ

① 日経平均株価(日経225)の値動きは100円なのに、利益は1万円?

右の図を見て、そんな疑問を持つ人も多いはず。でもこれが「くりっく株365」ならではの取引感覚。いったいどんなしくみになっているのか、この冊子を読んでのお楽しみだワン。

② 「買い」だけでなく「売り」からでも利益を追求できる

売りから入るという選択肢もアリ。「高く売り、安く買い戻す」ことが基本。1万円で売った「くりっく株365」を、株価指数が9900円になった時点で買い戻すと、利益が発生するってワケ。

※手数料や金利・配当相当額は勘案していません。

(注) 買いポジションを保有の場合:配当相当額を受取り、金利相当額を支払います。(ただし、金利相当額の支払い額が配当相当額の受取り額を上回る場合があります。) 売りポジションを保有の場合:配当相当額を支払い、金利相当額を受取ります。DAX®証拠金取引については、配当相当額は発生しません。DAX®はドイツ取引所の登録商標です。

日経225を1万円で「買い」
上昇を予想

下降を予想
日経225を1万円で「売り」

上昇?

下降?

予想が当たれば...

現在の日経平均株価 1万100円

1万円の
利益

現在の日経平均株価 9900円

1万円の
利益

おぼえておこう「くりっく株365」の取引概要



くりっく株365 取扱例

取引単位は1枚
(日経平均×100円)

必要証拠金
取引金額の $\frac{1}{20} \sim \frac{1}{30}$ 程度

※取引単位1枚に対して、証拠金を預ける必要があります。証拠金は相場状況により、増加する場合があります。

日経平均…15,000円
1枚買い

日経平均…16,000円
1枚売り

10万円の利益

150万円の取引

160万円の取引

※日経平均が下落した場合は損失を被ります。

取扱商品

取扱商品	取引対象となる株価指数	取引単位	呼び値	最小変動幅相当
日経225証拠金取引	日経225	株価指数の数値 ×100円	1円	100円
NYダウ証拠金取引	NYダウ		1ポイント	
DAX [®] 証拠金取引	DAX [®]			
FTSE100証拠金取引	FTSE100			

※最低取引単位は1枚です。

休業日

日経225証拠金取引	土曜日、日曜日、1月1日、1月1日が日曜日に当たるときは1月2日
NYダウ証拠金取引	土曜日、日曜日、米国におけるNYダウ先物市場の休場日
DAX [®] 証拠金取引	土曜日、日曜日及び取引対象となる株価指数を構成する銘柄が取引される取引所の休業日
FTSE100証拠金取引	

決済方法

現物を保有しない差金決済取引

「くりっく株365」では、現物の株取引等と異なり、実際に手元に商品を受け取らず、株価指数の買値と売値の差額(差金)を決済します。

金利相当額/配当相当額

金利相当額

買い手: 支払い 売り手: 受け取り

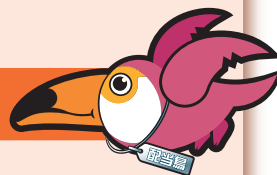
算出方法: 清算価格×100×日銀政策金利(無担保コール翌日物誘導目標※)×日数÷365

※平成25年4月4日から当面の間、日本銀行が公表する「無担保コール翌日物金利」速報(平均)とします。

配当相当額

買い手: 受け取り 売り手: 支払い(配当落ちの都度)

※DAX[®]証拠金取引は、配当込み指数のため配当相当額は発生しません。



ワンダフル

1

ほぼ24時間・祝日も

いつでも



仕事が終わってからも間に合う
「ほぼ24時間」トレード。更に祝日も!

「くりっく株365」の日経225証拠金取引では、ナントほぼ24時間、祝日※だって取引できちゃう!もちろん、海外の株価指数も日本が祝日でも取引できるから、世界中の市場の動向を追うことができるんだヨ。

※1月1日(この日が日曜日の場合は1月2日)を除きます。

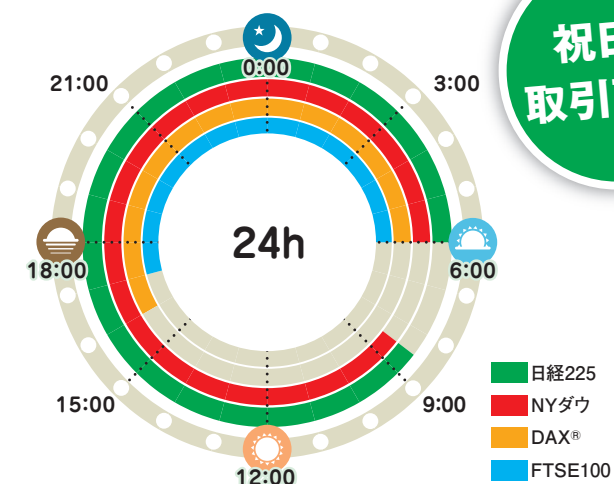
「くりっく株365」の取引時間早見表

ほぼ24時間取引だから
おいしい機会を逃さない

海外(欧米)市場が開いている間は取引がダイナミック。ニューヨーク市場のクローズ時間までカバーしています。

帰宅後にデイトレードも可能

ほぼ24時間取引だから会社から帰って自宅でじっくり取引することができます。



祝日も
取引可能!

株価指数	付合せ開始時刻※	付合せ終了時刻
日経225	8:30	翌朝6:00
サマータイム (3月第2日曜日～11月第1日曜日)	8:30	翌朝5:00
NYダウ	8:30	翌朝6:00
サマータイム (3月第2日曜日～11月第1日曜日)	8:30	翌朝5:00
DAX[®]	16:00	翌朝6:00
サマータイム (3月第2日曜日～3月最終日曜日の前日及び10月最終日曜日の翌日～11月第1日曜日)	16:00	翌朝5:00
(3月最終日曜日～10月最終日曜日)	15:00	翌朝5:00
FTSE100	17:00	翌朝6:00
サマータイム (3月第2日曜日～3月最終日曜日の前日及び10月最終日曜日の翌日～11月第1日曜日)	17:00	翌朝5:00
(3月最終日曜日～10月最終日曜日)	16:00	翌朝5:00

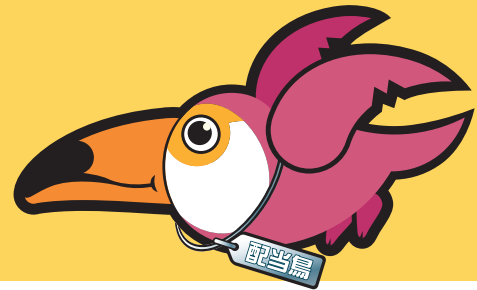
※付合せ開始前の10分間は、プレオープン時間帯です。ただし、日経225証拠金取引とNYダウ証拠金取引の週初めの取引日については、付合せ開始前の30分間をプレオープン時間帯とします。(プレオープン時間帯には、約定は発生しません)

ご注意 取引時間は、臨時に変更される場合があります。金融取における取引時間帯の切り換え時には、事前に金融取ホームページ等でお知らせいたします。また、海外市場の祝日等の理由で取引時間を変更する場合があります。

2 配当あり

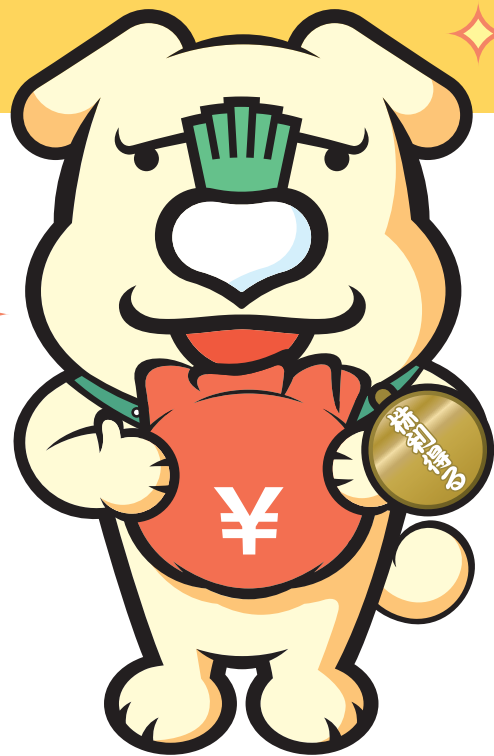
現物株と同じ

ハイター
ハイター



通常の株と同じように 配当がもらえるヨ

「くりっく株365」では、「買い」ポジションを持っていると株と同じように配当をもらえたり、「売り」ポジションを持っていると金利をもらえたりできるんだヨ。ムズカシそうだけど、しくみはカンタン!しっかり下の表で基本を押さえておこう!



金利・配当相当額は、「買い」と「売り」で同額(一本値)ナノダ!



	買い ポジション	売り ポジション
金利相当額	支払い	受け取り
配当相当額	受け取り	支払い

金利相当額ってこういうこと

「金利相当額」とは、「くりっく株365」の買いポジションを持つ場合に投資家が支払い、売りポジションを持つ場合に投資家が受取るものです。

買い手

株価指数を構成する銘柄を保有することに伴う資金調達コストに相当

売り手

株価指数を構成する銘柄を売却することに伴う資金運用益に相当

金利相当額の算出方法

$$\frac{\text{清算価格} \times 100 \times \text{日銀政策金利}^* \times \text{日数}}{365}$$

※無担保コール翌日物誘導目標。一定の幅があるときは平均値を使用
※平成25年4月4日から当面の間、日本銀行が公表する「無担保コール翌日物金利」速報(平均)とします。

配当をもらっちゃおう!

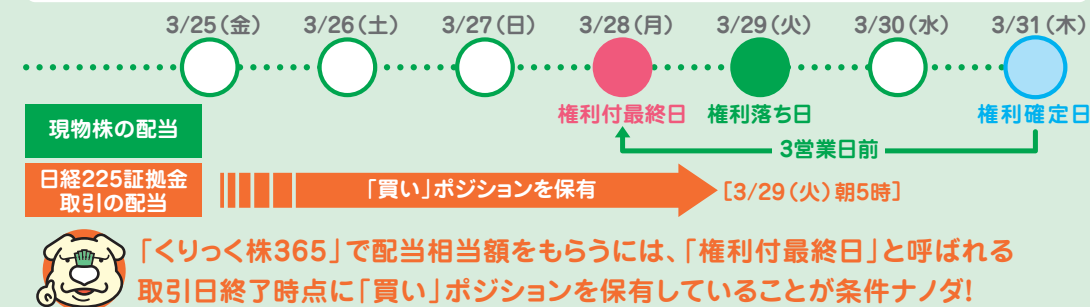
現物株の場合、「権利確定日」という特定の日に株式を持っていれば配当がもらえる。「くりっく株365」も似たしくみなノダ。



配当相当額ってこういうこと

「くりっく株365」では、買いポジションを持っている場合、株価指数の構成銘柄に配当があればその都度、株価指数ベースでの配当相当額が付与されます。(売りポジションの場合は同額を支払います)

配当のスケジュール例



※DAX®証拠金取引については、配当相当額が発生しません。
※現物株を保有する株主に与えられる株主優待等の株主権は「くりっく株365」には適用されません。
※配当相当額は、予想配当に基づき、金融取が算出します。

「くりっく株365」の金利や配当のしくみ

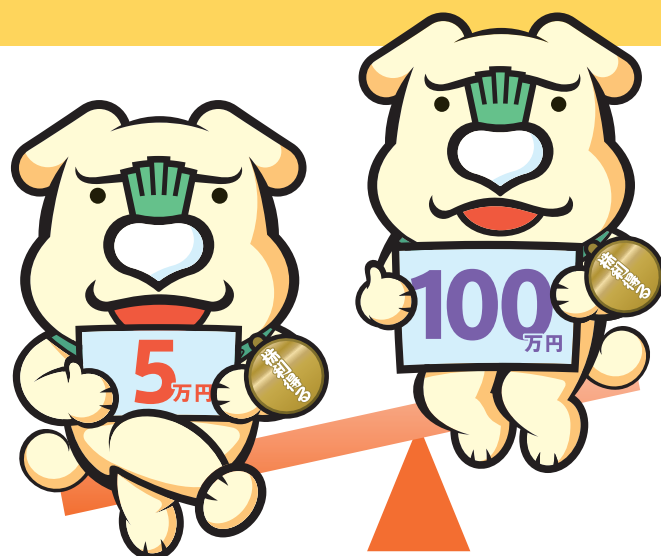
日経225先物や日経225miniなどの先物取引には、「金利」と「配当」があらかじめ価格に含まれているので、取引価格は、理論上は現物価格と異なります。くりっく株365の日経225証拠金取引では、こうした「金利」と「配当」に相当する額を買い手と売り手の間で日々受け払いすることにより、現物の日経225に近い価格で取引することができま。投資家にとって、わかりやすい価格で取引できるのが大きな魅力です。

配当を得る権利の最終日(権利付最終日)の翌日(権利落ち日)、その銘柄は配当分だけ価値が減じられて取引されます。これがいわゆる「配当落ち」。現物株と同じ仕組みですね。だから、売りポジションを持っている投資家は、配当相当額を支払いますが、この配当落ちによって価格は理論的に下がるわけですから、必ずしも経済的に損をしていることにはなりません。



レバレッジ取引で、実感する運用効果

「くりっく株365」では、預けた証拠金（資金）を担保にレバレッジを利かせて効率よく取引できるノダ。大きな利益が期待できる反面、思惑が外れると損失を被ることもあり得るから、注意が必要だワン！



現物株の取引では…
1株 (10,000円) とすると

100万円

で

100株

を購入し値上がりを待つ

「くりっく株365」なら 日経225が10,000円とすると

例 5万円
(証拠金)

で

1万円に対して100倍
(100万円分)

の取引ができる

証拠金が5万円
だから
レバレッジは20倍



そもそも証拠金ってなに？

「くりっく株365」は正式には「取引所株価指数証拠金取引」といいます。ここに登場する証拠金とは、「くりっく株365」の取引を行うためにあらかじめ預けておく担保のこと

です。「くりっく株365」では取引するために必要な証拠金の最低金額（証拠金基準額）を原則的に週1回の頻度で見直し、市場の動きに迅速に対応しています。

ポイント

証拠金基準額をもとに「くりっく株365」取扱会社が取引に必要な証拠金の金額を決めるのが必要証拠金。儲けだけでなく、損失も想定して、ロスカットラインをあらかじめ頭に入れておくのが賢い投資だワン。



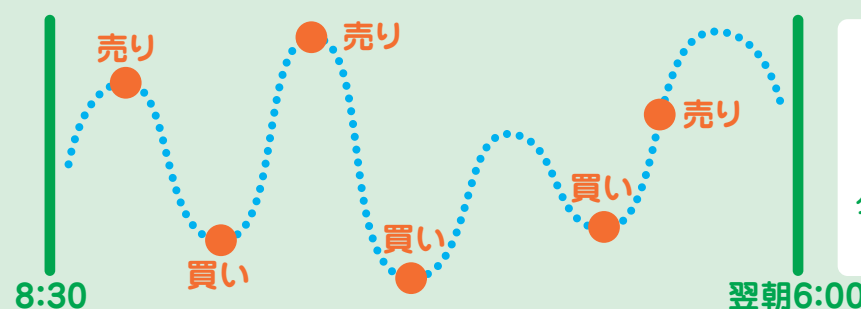
決済期限がないから長期保有して利益を狙うことも

「くりっく株365」は、「限月（げんげつ）」という決済期限がないから、証拠金に余裕があればいつまでもポジションを持ち続けることができるノダ。短期間で売買益を狙うのも、中長期の取引で配当をコツコツ手に入れていくのもいいんじゃない？



短期間 例えば日々の価格変動を狙った取引

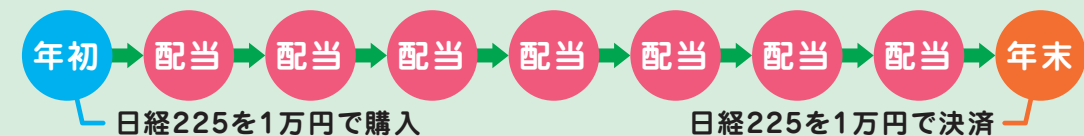
デイトレードで



1日に何度でも。
タイミングを見ながら
効果的な売買を！

中長期 配当を狙って、株式、投信のように取引

1年間の長期で「買い」ポジションを保有

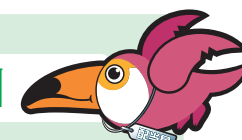


➡ 1年間で数回、「配当落ち」の都度、
配当相当額を得る



ロスカットに
気をつけてネ！

※金利相当額を支払う必要があります（P3を参照）。



「くりっく株365」は、 海外の株価指数も 円で取引できて画期的!

日経225のほか、アメリカ、ドイツ、イギリスといった国々の代表的な株価指数に投資できるのが「くりっく株365」。一つの取引口座で、直接円で国際分散投資ができちゃうカッコテクな商品ナノダ!



海外指数を円建てで取引



今はたくさん海外の取引商品に投資することができるけど、取引にはその国の為替レートが影響しちゃう(為替の変動で利益が減ってしまうことも!)



「くりっく株365」の海外株価指数は、最初から円建てになっているから、為替レートを気にしなくて済むってワケ。金利・配当相当額も当然、円建てナノダ。

例えば 取引する単位は、指数の価格に100円をかけた金額。

NYダウが17,000ポイント $17,000 \times 100円 = 170万円$

購入

NYダウが18,000ポイントまで上昇 $18,000 \times 100円 = 180万円$



1000ポイントの差額は10万円。円建てだから損益がイメージしやすいノダ。

「くりっく株365」の海外指数取引では、マーケットメイカーが為替リスクを負って円建てでレートを提示するので、為替レートを気にすることなく取引することができます。

日経225

言わずと知れた日本を代表する株価指数。日本経済新聞社が算出しています。輸出産業の銘柄が多くあります。テレビなどでもおなじみの指数で、日本経済の動向をリアルに感じることができる取引です。

NYダウ

世界で最も有名な株価指数。米国を代表する優良企業30銘柄で構成されています。

DAX®

世界第4位の経済大国、ドイツの株価指数。化学、工業の比率が高く、輸出への依存度が高いのが特徴です。

FTSE100

ロンドン証券取引所に上場する銘柄のうち、時価総額の上位100社で構成される株価指数。金融関連やメジャーと呼ばれる資源関連の銘柄数が多いのが特徴です。

必 ウィークリーレポート

「くりっく株365」では、取引対象となる株価指数の相場動向や取引対象国に関するウィークリーレポートの提供を開始しました。「くりっく株365」の市場価格チャートや配当

相当額、金利相当額に関する情報、さらに、各国の経済・社会情勢といったトピックスなどをわかりやすくまとめ、投資の参考となる多くの情報を掲載します。



ほかにも続々、ワンダフル

完全マーケットメイク方式

「くりっく株365」は完全マーケットメイク方式でお客さまに価格を提供します。投資家の皆さまの注文はすべてマーケットメイカー（MM）と呼ばれる金融機関を相手方として付け合わされます。

取引できるレートは複数のMMにより提示される価格の中から、最も安い売り価格（売呼び値）と、最も高い買い価格（買呼び値）が抽出され、リアルタイムで提供されます。

マーケットメイカーによるレート提示

マーケットメイカー	買呼び値	売呼び値	スプレッド
A社	17,096	17,101	5円
B社	17,094	17,100	6円

「くりっく株365」 提示レート	買呼び値	売呼び値	スプレッド
	17,096	17,100	4円

投資家に
有利な仕組み

※各商品では複数のマーケットメイカーが常時レート提示を行うことになっていますが、一時的にレートを提示するマーケットメイカーが1社だけとなったり、またはレート提示がなくなる可能性もあります。

税制について

「くりっく株365」の税制は以下のとおりです。

税制は
申告分離課税で
一律20%※

くりっく365（FX）や
日経225先物などと
損益通算が可能

3年間の
損失繰越
控除が可能

※東日本大震災からの復興財源を確保するため、平成25年から平成49年まで（25年間）、追加的に課税され、税率は20.315%となります。

証拠金の保護

「くりっく株365」の取扱会社は、投資家の皆さまのポジション状況にかかわらず、投資家の皆さまから預かった証拠金の全額を、法令により金融取に預託しなければなりません。したがって、投資家の皆さまの証拠金は、取扱会社が万一破綻

したような場合でも、金融取に預託された証拠金は原則的に全額保護されます。また、金融取では、預託された証拠金を法令に基づき取引所の財産と分別、保管しています。



ロスカット制度を覚えておこう。

予想と反対の方向へ相場が動いたとき、事前に取扱会社と定めた条件の範囲を超えて損失額が膨らむと自動的に反対売買を行う仕組み。想定以上の損失を防ぐ制度だからリスク管理が効果的に行えるヨ。

「くりっく株365」を理解したら、
さあ、はじめてみよう！

「くりっく株365」取扱会社に連絡

「くりっく株365」取扱会社一覧とその連絡先等の情報については、金融取の「くりっく株365」専用ホームページをご覧ください。

「くりっく株365」専用ホームページ

くりっく株365

検索



取扱会社は、
いろいろ比較して
じっくり選ぼうネ



取引に役立つ用語集

受渡決済 (うけわたしけっさい)

先物取引やオプション取引の決済期日に、原資産とその対価の授受を行う決済方法。「くりっく株365」では、受渡決済ではなく、差金決済が行われる。

売呼び値 (Ask、Offer)

マーケットメイカーが提示する売付の希望価格のこと。＝アスク
マーケットメイカー数社が提示する最も有利な価格で買付することができる。＝オファー ⇄ 買呼び値(ビッド)

終値 (おわりね)

取引終了時の価格。「くりっく株365」では、付合せ時間帯終了時点の価格。⇄ 始値

確定申告

個人や法人が、申告を行う前年の収入や支出を計算した申告書を税務署に提出すること。申告によって所得税額が確定するため、「確定申告」と呼ばれる。個人の場合、例年2月16日～3月15日が申告期間となっているが、申告によって還付を受ける場合は、課税対象期間の翌年から5年後まで申告可能。

株価指数証拠金取引口座 設定約諾書

「くりっく株365」の取引口座を取扱会社(取引参加者)に開設するにあたり、取引に係る取り決めを定めた書面。

先物取引

価格が変動する商品や指数(日経平均株価など)について、ある時点の価格を予見して行う取引のこと。日本の先物取引には、「金融先物取引」「商品先物取引」「株価指数先物取引」などがある。

差金決済 (Contract for Difference)

決済時に原資産の受渡をせず、算出された損失又は利益に応じた金額(差金)のみを授受する決済方法のこと。「くりっく株365」の決済は差金決済で行う。

サマータイム (Summer Time)

夏の間、太陽の出ている時間帯を有効に利用する目的で、現行の時刻に1時間を加えたタイムゾーンを採用する制度。またはその加えられた時刻のこと。

証拠金

取引を行うための担保として預けるお金のこと。顧客が「くりっく株365」取扱会社へ預けた証拠金は、法令及び金融取の規則に基づき、全額金融取に預託され、分別管理される。

申告分離課税制度

所得税の課税方法のひとつ。給与所得等の他の所得と合計せず、分離して税額を計算する。「くりっく株365」で得た利益には申告分離課税が適用される。なお、申告分離課税制度では確定申告の手続きが別途必要となる。

スプレッド (Spread)

商品での買い値と売り値の価格差を指す。「くりっく株365」では、マーケットメイカーが提示する買呼び値(買気配、ビッドとも言う)と売呼び値(売気配、オファーとも言う)の価格差のこと。

清算価格

取引所が、建玉の評価を行うために定める価格のこと。この価格を基に、建玉の損益の計算等の清算業務が行われる。「くりっく株365」の場合、金融取は、取引時間終了後、一取引日ごとに各株価指数証拠金取引別に算出する。

損益通算

一定期間に行われた売買の利益と損失を合算し、損益計算すること。

追加証拠金

証拠金残高が日々の相場の変動により自己の建玉を維持するのに必要な金額(株価指数証拠金所要額)を下回った場合、追加して差し入れなければならない証拠金(担保)のこと。略して「追証(おいしょう)」ともいう。

デリバティブ (Derivatives)

従来の金融取引(預金、債券売買、外為取引、株式売買など)や現物商品の相場変動リスクを回避するために生み出されたハイテク金融商品の総称。金融派生商品ともいう。具体的には先物取引、オプション(選択権)取引、スワップ取引などがある。

店頭取引 (Over the counter)

取引所市場を介さずに、売買の当事者が1対1(相対)で、数量や価格、決済方法等の取引条件を定めて行う取引のこと。＝相対取引 =OTC ⇄ 取引所取引

取引参加者

取引所が開設する市場において直接取引を行う取扱会社およびマーケットメイカーのこと。取引参加者になるためには、財務状況等の一定の要件を満たす必要がある。

ポジション (Position)

売買を行い保有している状態の未決済の取引を指す。買い付けて売っていないものを「買いポジション」、売り付けて買い戻していないものを「売りポジション」と呼ぶ。＝建玉

マーケットメイカー (Market maker)

マーケットメイク方式を採用している市場で、売り買いのレートを同時に提示し、その価格で売買注文に応じる取引参加者をいう。「くりっく株365」では、有力な証券会社がマーケットメイカーとなっている。

無担保コール翌日物金利

金融機関同士が当日の資金過不足を調整するために資金の貸し借りを行うコール市場において、無担保で翌日返済の短期資金を貸し借りする際の金利。

ロスカット (Loss cut)

予測と反対の方向へ相場が動き、損失額が顧客と取扱会社が事前に定めた条件まで膨らんだ場面に、損失を限定するために顧客の意思に関わらず取扱会社が反対売買等を行うこと。

ロールオーバー (Rollover)

「くりっく株365」において、同一取引日中に反対売買されなかった建玉について、取引時間帯終了時に建玉が消滅し、同時に消滅した建玉と同一内容の建玉が発生すること。

「日経平均株価」は株式会社日本経済新聞社(以下「日本経済新聞社」という)によって独自に開発された手法によって算出された著作物であり、日本経済新聞社は「日経平均株価」自体及び「日経平均株価」を算出する手法に対して、著作権、知的財産権、その他一切の権利を有しています。「日経平均株価」を対象とする株価指数証拠金取引(以下「本件証拠金取引」という)に関するすべての事業、取引規制および実施は、専ら株式会社東京金融取引所(以下「金融取」という)およびその参加者の責任であり、それらについて日本経済新聞社は一切の義務ないし責任を負うものではありません。本件証拠金取引市場を運営するに当たり本件証拠金取引に必要な「日経平均株価」採用銘柄の配当落ち分は、金融取の責任の下、算出及び公表しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」の採用銘柄、算出方法、その他「日経平均株価」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。日本経済新聞社は「日経平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負うものではありません。

DAX[®]はドイツ取引所の登録商標です。
DAX[®]証拠金取引は、ドイツ取引所により保証、推奨、販売等いかなる形においてもサポートされているものではありません。ドイツ取引所は、DAX[®]証拠金取引でのインデックス利用に伴う結果及びインデックストレードマークの利用、ある時点でのインデックスの価格等いかなる点においても、明示的及び黙示的な保証及び代理権を与えているものではありません。インデックスはドイツ取引所で計算し公表しています。しかし、適用可能な限りの制定法下において、ドイツ取引所は第三者に対しインデックスの誤謬について責任を負いません。さらに、インデックスの誤謬の可能性を指摘する義務を、投資家を含む第三者に対して一切負いません。ドイツ取引所によるインデックスの公表及びDAX[®]証拠金取引へのインデックスとインデックストレードマークの利用を認めたことによって、ドイツ取引所としてDAX[®]証拠金取引への投資を推奨し、またはこの投資の魅力について意見を表明するもしくは保証するものでは一切ありません。ドイツ取引所はインデックス及びインデックストレードマークの唯一の権利所有者として、東京金融取引所に対してDAX[®]証拠金取引に関連してインデックスとインデックストレードマークを利用及び参照することを認めたものです。

当該FTSE100(以下「インデックス」)の全ての権利はFTSE International Limited(以下「FTSE」)に帰属します。「FTSE[®]」は、London Stock Exchange Groupの会社が所有する商標であり、ライセンス契約に基づき、FTSEが使用します。

当該FTSE100証拠金取引(以下「商品」)は東京金融取引所が独自に開発したものです。当該インデックスはFTSEまたはその代理人が算出します。FTSEおよびそのライセンサーは当該商品に関わりを有さず、それについてスポンサー、助言、推薦、保証、もしくは販売促進を行うものではなく、(a)当該インデックスの使用、これに対する依拠、その誤りから生じる何事についても、あるいは(b)当該商品への投資もしくは運用から生じる何事についても、何人に対しても責任を負いません。FTSEは当該商品の使用によって得る結果についても、もしくは当該インデックスが使用される何らかの目的に対する適切性についても、請求、予測、保証もしくは意見表明を一切行いません。東京金融取引所は商品の組成にあたり、FTSEよりその情報を使用する権利を取得しています。

Dow Jones Industrial Average[™](ダウ・ジョーンズ工業株価平均)は、S&P Dow Jones Indices LLC(以下「SPDJ」)が算出する指数であり、SPDJがライセンスに係る権利を保有しています。「DJIA[®]」、「The Dow[®]」、「Dow Jones[®]」及び「Dow Jones Industrial Average」(ダウ・ジョーンズ工業株価平均)のサービス・マークは、Dow Jones Trademark Holdings, LLC(以下「DJTH」)からSPDJにライセンス供与されており、株式会社東京金融取引所(以下「金融取」)による一定の目的のために、SPDJから金融取へ使用に関するサブライセンスが付与されています。金融取に上場されるダウ・ジョーンズ工業株価平均を原資産とするNYダウ証拠金取引は、SPDJ、DJTH及びそれらの関連会社により後援、承認、販売又は宣伝されるものではなく、これらのいずれもかかる商品への投資の妥当性に関与していない保証・表明もしていません。